

令和5年度 第3回 自主防災会長・委員長会議

日時・会場（川根地区） 9月21日（木）午後6時30分から
川根支所2階 大会議室
（金谷地区） 9月22日（金）午後6時30分から
夢づくり会館 学習の部屋
（島田地区） 9月26日（火）午後6時30分から
9月28日（木）午後6時30分から
プラザおおるり 大会議室

	次 第	ページ
開会		
挨拶		
1	防災教室開催について	1
2	令和5年度島田市地域防災訓練について	2～5
3	令和5年度自主防災組織育成対策補助金の請求手続きについて	6～12
4	避難行動要支援者の情報提供及び個別計画の作成について	13～18
質疑応答		
閉会		

普通救命講習会



もしものとき、あなたは慌てずに対応できますか？
大切なひとを守るため、応急手当の正しい知識や技術を習得しましょう。
講習会ではAEDの操作方法、心肺蘇生法などを学びます。

★受講後に「普通救命講習Ⅰ修了証」が交付されます。

開催日程

回数	日時	場所	募集人数
【第1回】	11月7日(火) 18:00~21:00	島田消防署 大会議室	30人程度
【第2回】	11月14日(火) 9:00~12:00	島田消防署 大会議室	30人程度
【第3回】	11月21日(火) 18:00~21:00	島田消防署 大会議室	30人程度

※1回で修了する講習です。希望する回へお申し込みください。

申込方法

別紙「島田市防災教室参加票」(様式集P.1)を危機管理課まで御提出ください。

提出期限

令和5年10月20日(金)

講座内容

救急車が到着するまでの10分弱に行う応急手当や、心肺蘇生法及び大出血時の止血法を中心とした講習となります。

※ 当日は実技のできる服装(スカートは不可)と靴でお越しください。
また、筆記用具を御用意願います。(申込締切後、参加者には別途通知します)

【問合せ先】危機管理担当 杉山 TEL. 36-7320

2. 令和5年度島田市地域防災訓練について

訓練日時

- 令和5年12月3日（日） 「地域防災の日」
- 地震発生：午前9時（サイレン吹鳴、同報無線による広報）
 - ※ 午前9時頃に緊急速報メール（エリアメール）を配信する。
 - ※ 自主防災会が別に定めた日時における訓練実施も可能

訓練想定

大規模地震を想定する。ただし、台風等の大雨による水災害等の発生を想定した地域の実情に応じた訓練も実施可能

訓練実施主体

各自主防災会、島田市

自主防災会による訓練の例

地域で出来る「共助」を確認し、地震発生時や台風、大雨による被害を軽減する。

- 初期対応訓練
 - 初期消火、給水、炊出し、安否確認、救出・救助、搬送、応急手当等の訓練
- 避難訓練
 - 避難地・避難所への避難
- 要配慮者の支援訓練
 - 要配慮者の避難を円滑にするための連絡体制・搬送方法の検討
- 資機材操作訓練
 - 自主防災倉庫内における資機材の作動点検・操作習熟
- 備蓄品の確認
 - 自主防災倉庫内備蓄品の確認、期限の点検
- 防災教育・研修
 - DVDや講演会などによる防災教育・啓発の実施
- 避難所運営及び地域における被災者支援体制の構築に関する訓練（避難所運営組織）
 - ・避難所運営組織で定めた事項の検証
 - ・避難所の開設及び各班の活動訓練
 - ・自宅避難者や自家用車避難者等に対する情報伝達
 - ・食糧、生活必需品等を支援する体制の構築
- 地区本部訓練
 - 地区住民の被災状況・避難状況等の確認、避難所との調整、物資受領・配分
- 図上訓練
 - D I G 訓練や防災マップ作成等による地域の危険箇所、被害特性を再確認

家庭や自主防災会における普段からの備え等の例

○ 家庭における備え

日頃からの備え、自らの命を守る「自助」のためにとるべき行動の確認

- ・ 非常持ち出し品の準備・点検・確認
- ・ 「家庭内D I G」等により家庭内の危険を認識、安全性の確認
- ・ 我が家の耐震性の確認と共に、家具の転倒防止、ガラスの飛散防止、ブロック塀の転倒防止に向けた対策
- ・ 災害伝言ダイヤル（171）等を利用した、家族間の安否確認
- ・ 災害時に家庭内で実施する行動を示したマイタイムラインの作成

○ 自主防災会における備え

- ・ 地域に居住する看護師、消防署員、消防団員、警察官、自衛隊経験者等の人材把握
- ・ 地域内に居住する要配慮者を把握し、発災時の対応の検討
- ・ 災害時に地域内で実施する行動を示した地区タイムラインの作成
- ・ 日中、夜間、平日、休日等の発災条件の違いによる体制のあり方について検討、意識の共有化
- ・ 中学生、高校生、外国人等の参加を促し、地域ぐるみの訓練の実施
- ・ 一人でも多くの住民が資機材を操作出来るよう、丹念な動作訓練
- ・ 地区本部運営要領の確認、地区の被災情報の収集体制の確認
- ・ 避難所の運営要領の確認
- ・ 市災害対策本部等との情報伝達体制の確認
- ・ 自宅避難者の把握方法や取りまとめについて、避難所運営組織、地区本部組織を含めての体制の検討

訓練中止の決定について（各自主防災会が自ら判断し決定）

異常気象等に対しては、住民の安全確保を最優先して適切な状況判断により対応することとする。

- (1) 南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が発表された場合は、訓練を中止する。
- (2) 島田市に震度4以上の地震が発生した場合は、訓練を中止する。
- (3) 島田市に気象警報（大雨・洪水・暴風等）が発表された場合は、訓練を中止又は内容を変更する。
- (4) その他、訓練実施が適当でないと判断されたときは、訓練を中止又は内容を変更する。

- (1) 令和5年度 地域防災訓練 実施計画書(様式集P.8)
提出期限：令和5年11月7日(火)まで
提出場所：危機管理課
提出方法：持参、郵送、FAX、電子メール

- (2) 令和5年度 地域防災訓練 訓練報告書(様式集P.9)
提出期限：令和5年12月15日(金)まで
提出場所：危機管理課
提出方法：持参、郵送、FAX、電子メール

- (3) 情報伝達訓練報告書(様式集P.10)
訓練内容：避難所派遣職員への情報伝達訓練
対 象：12月3日(日)午前9時から12時の間に訓練を実施する自主防災会
提 出 先：指定避難所に派遣される避難所派遣職員
※指定避難地(所)派遣職員の参集場所を参照
提出時間：当日午前10時30分まで

危機管理課 危機対策担当 進士・藺田
電話 36-7143 FAX 35-6000
mail : kikikanri@city.shimada.lg.jp

指定避難地(所)派遣職員の参集場所

No.	指定避難地(所)名	派遣職員の参集場所	派遣職員人数
1	島田高等学校	正門	3
2	第一小学校	国旗掲揚台前	3
3	第一中学校	正門(雨天の場合、体育館入口付近)	3
4	島田樟誠高等学校	第二体育館前	3
5	伊太小学校	避難所防災倉庫前	3
6	第二小学校	来校者用玄関前	3
7	第三小学校	校舎職員用入口前	3
8	第二中学校	体育館北側入口	3
9	第四小学校	体育館南入口	3
10	島田商業高等学校	正面玄関前	3
11	第五小学校	避難所防災倉庫前	3
12	六合中学校	体育館前	3
13	六合小学校	ロクティ駐車場内 避難所防災倉庫前	3
14	六合東小学校	体育館入口付近	3
15	島田工業高等学校	避難所防災倉庫前	3
16	大津小学校	体育館前	3
17	相賀小学校	クラブハウス入口	3
18	神座小学校	体育館入口前	3
19	伊久美小学校	避難所防災倉庫前	3
20	山の家	玄関	3
21	Glamping&Port結(旧湯日小)	体育館前	3
22	初倉小学校	体育館入口	3
23	初倉中学校	体育館前	3
24	初倉南小学校	避難所防災倉庫前	3
25	駿遠学園(北五和会館)	北五和会館入口	3
26	五和小学校	グラウンド昇降階段	3
27	夢づくり会館	南側入口	3
28	金谷中学校	避難所防災倉庫前	3
29	金谷高等学校	正門前	3
30	金谷小学校	昇降口前	3
31	旧金中グラウンド(茶の都ミュージアム)	旧金中グラウンド防災倉庫前	3
32	菊神農村公園(菊川の里会館)	菊川の里会館玄関前	3
33	菊神農村公園(神谷城西公民館)	避難所防災倉庫前	3
34	大代公民館	避難所防災倉庫前	3
35	川根小学校	昇降口	3
36	川根文化センターチャリム21	玄関前	3
37	ぬくり交流センター	交流センター入口	3
38	川根中学校(総合体育館)	避難所防災倉庫前	3
39	山村都市交流センターささま	事務室	3

3. 令和5年度 自主防災組織育成対策補助金の請求手続きについて

下記に記載してある補助金の請求手続きに必要な書類及び記載内容を十分に確認のうえ、令和6年1月5日(金)までに御提出ください。

令和5年度自主防災組織育成対策補助金の申請をしていない組織については、書類提出の必要はありません。

記

1 提出書類（6点）

① 実績報告書（様式集P. 2）

- ・町内会長や防災委員長名義ではなく、自主防災会長の名義で提出してください。
※日付欄は『令和6年1月5日』に統一してください。

② 事業実績書（様式集P. 3）

③ 収支決算書（様式集P. 4）

- ・決算額に実際に支払った金額を記入してください。
- ・予算額に年度当初に提出いただいた予算額を記入してください。
- ・役員報酬・手当は補助金の対象となりません。
- ・公民館消防設備の保守点検料等は補助金の対象となりません。

④ 領収書のコピー（レシート可）（様式集P. 6）

- ・金額のみの領収書の場合は、領収書内か決算書の内訳欄に内容を記入してください。
- ・内訳欄等に収まりきらない場合は、別で内訳書を作成して添付してください。
- ・領収書の右上に自主防災組織運営費、物品購入費等の区分を赤字で記入してください。
- ・領収書の貼り付けは、決算書の上からの費目の順番でお願いいたします。（厳守）
※費目順：自主防災組織運営費→防災倉庫費→物品購入費→資機材修繕費→備蓄食料購入費
※避難所運営会議への分担金や資料コピー代等の領収書が無いものについては町内会長等の代表者印のある領収書を自治会で作成し添付してください。
※振込手数料も補助対象となります。対象とする場合はご利用明細票等を領収書と併せて添付してください。

⑤ 通帳のコピー（様式集P. 7）

- ・必ず口座名義・口座番号と取引銀行名、支店名が確認できるようコピーしてください。

⑥ 請求書（様式集P. 5）

- ・金額欄、日付欄は記入しないでください。
- ・町内会長や防災委員長名義ではなく、自主防災会長の名義で提出してください。
※金額欄及び日付欄は、危機管理課にて記入します。

2 提出期限・場所

提出期限 令和6年1月5日(金)

提出先 島田市危機管理課（島田市役所 3階）

様式第9号（第13条関係）

実績報告書

日付統一

令和6年1月5日

島田市長

押印不用

住 所 島田市 中央町1-1
組 織 名 称 ○○○町 自主防災会
代表者氏名 会長 島田 太郎
電 話 番 号 0547-36-7143

令和5年8月29日付け島危危第63-□号により交付の決定を受けた自主防災組織育成対策事業が完了したので、関係書類を添えて報告します。

添付書類

- (1) 事業実績書
- (2) 収支決算書
- (3) その他

自主防災組織育成対策補助金
交付決定通知書の右上の発送
番号を記入

様式第1号（第7条関係）

事業実績書

1 事業の内容

実施時期	内容	備考
2ヶ月に1度 (偶数月) 9月~12月	自主防災会の開催 地域防災リーダー育成講座への参加	延べ50人参加 1人参加
8月 12月	総合防災訓練の実施 地域防災訓練の実施	300人参加 300人参加
毎月	資機材点検	9回開催
7、9、11月	避難所運営会議の開催（〇〇自主防災会と共催）	延べ120人参加 3回開催
9、12月 7月~12月	連絡網等による情報伝達訓練 防災マップ作成に係る検討会	延べ60人参加 2回実施 全世帯 6回開催

日付統一

2 事業完了予定年月日

令和 5 年 12 月 31 日

補助金交付申請時に収支予算書に記載した予算額を記入

収 支 決 算 書

実際に支払った額を区分ごとで合計して記入

(〇〇〇〇〇自主防災会)

区 分		予算額	決算額	算出基礎（説明）	
組織運営経費	A	自主防災組織運営費	30,000	15,000	資料印刷、公民館賃借料 避難所運営費 ※役員報酬・手当は補助金の対象となりません。
事業に要する経費	A	防災倉庫費	4,000	2,000	倉庫借地料 2名分
	A	物品購入費	300,000	150,000	決算額は100円以下も記入
	A	資機材修繕費	40,000	20,000	
業に要する経費	A	備蓄食料購入費	20,000	10,000	アルファ米
その他事業に要する経費	B	地域防災リーダー育成費	3,000	3,000	1人×@3,000
	B	避難所運営費	6,000	6,000	300世帯×@20
	B	連絡網等整備費	2,000	2,000	
	B	防災マップ作成費	30,000	30,000	300世帯×@100 防災マップ作成費は世帯×100円のみ
Aの小計		489,000	244,500		
Bの小計		41,000	41,000		
合計		530,000	285,500		

請求書

絶対に記入しない

金.....円


ただし、令和 年 月 日付け島他第.....号により補助金の交付の確定を受けた自主防災組織育成対策補助金として、上記のとおり請求します。

令和 年 月 日

島田市長

島田信用金庫は掛川信金との合併により、「支店」「口座番号」に変更が生じているため注意する

住 所 島田市 中央町1-1
 組 織 名 称 ○○○町 自主防災会
 代表者氏名 会長 島田 太郎
 電 話 番 号 0547-36-7143

押印


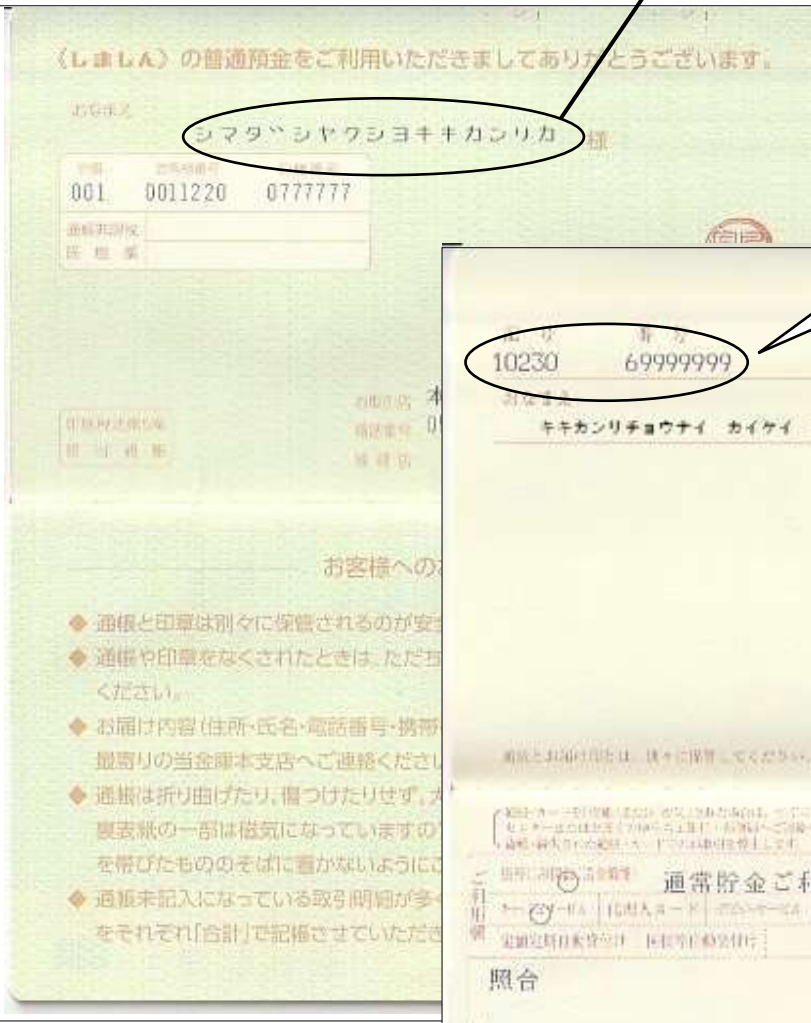
口座振込先 金融機関	島田掛川信用 銀行 金庫 農業協同組合	島田本店 —支店
ゆうちょ銀行は他銀行からの送金用に7桁の口座番号が設定されているので、8桁のゆうちょ番号と読み間違えないよう注意する	普通・当座	()
	1 2 3 4 5 6 7	
フリガナ	マルマルチョウジチカイカイケイ シマダ イチロウ	
口座名義人	○○町自治会会計 島田 一郎	

通帳を確認し「自治会 会計」なのか「自治会計」なのか間違いが多いため特に注意する

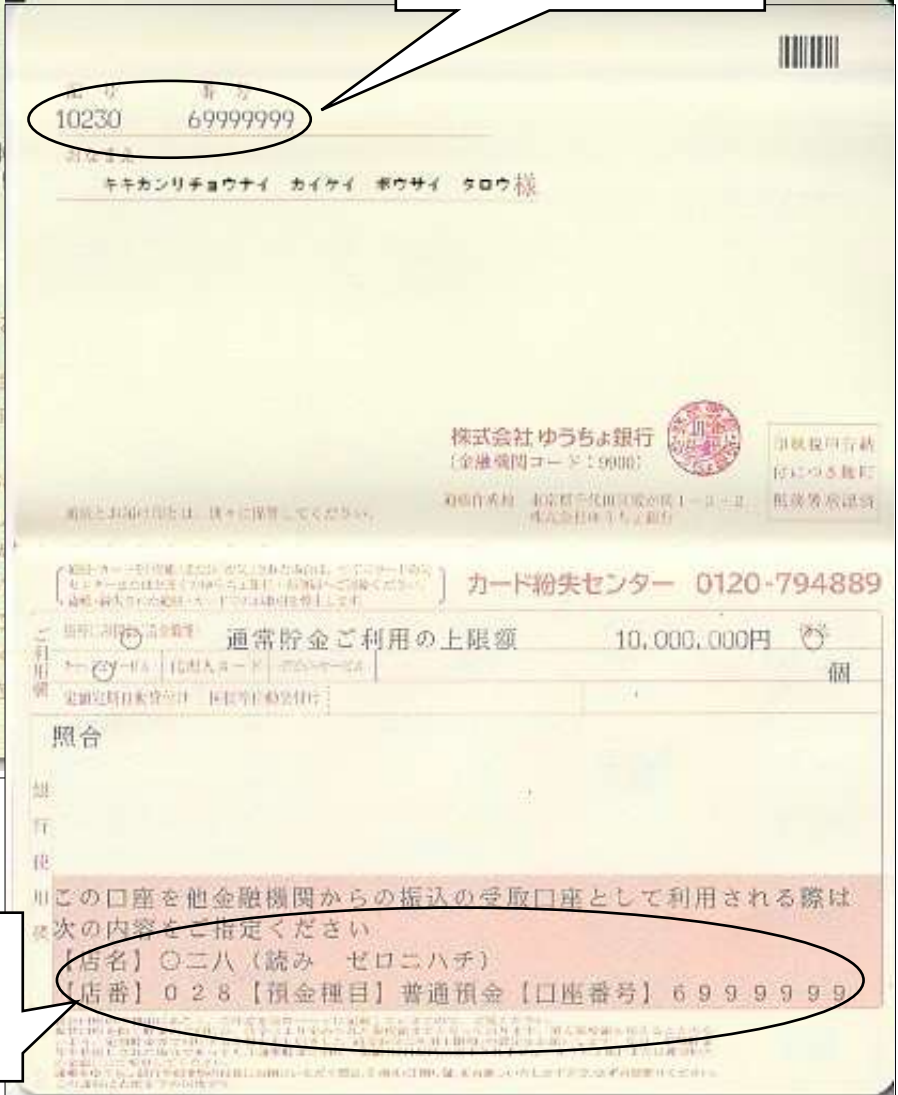
通帳の写しにおける注意点



口座名義人の漢字とフリガナの両方がわかるようにコピーをとり提出してください。



この番号は口座番号ではないので注意！！



ゆうちょ銀行を利用する場合は、こちらの番号を記入する

この口座を他金融機関からの振込の受取口座として利用される際は、次の内容をご指定ください
 【店名】〇二八（読み ゼロニハチ）
 【店番】028 【預金種目】普通預金 【口座番号】6999999

領収書コピー貼付け欄

赤字で記入

領 収 書 **自主防災組織活動運営費**

金 910 円

但し、公会堂コピー機使用代として

〇〇〇町内会会長 島田太郎

※領収書のない支出は町内会長等代表者印のある領収書を作成ください。

領 収 書

物品購入費

金 85,000 円

ホース 1台
吸水管 1本
発電機 1台

※金額のみの領収書の場合は手書きで購入した物の内訳を記入してください。

エンチャョー

島田店

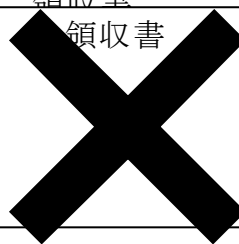
アルファ化米	1	}	備蓄食料購入費
@2000			
スコップ	2		
@1000			
懐中電灯	1	}	物品購入費
@500			
電池 単4	1		
@250			
小計			¥ 4,750
税金 10.00%			¥ 475
合計			¥ 5,225

1つの領収書で複数の区分で購入したものがあれば、品目ごとに区分を記入する。
また消費税を区分ごと計上するよう特に注意する。

領収書

領収書

領収書



複数の領収書を重ねて貼り付けないで、1枚ずつ見えるように貼り付けてください。

※各領収書には赤字でどの費用区分かを必ず記入してください。

※提出に際して領収書の写しを貼る用紙に指定の様式はありません。

※消費税や送金手数料の計算誤りが無いか十分に確認してください。

※費目順は、自主防災組織運営費→防災倉庫費→物品購入費→資機材修繕費→備蓄食料購入費にしてください。

4. 避難行動要支援者の情報提供及び個別計画の作成について

島田市では災害発生時に避難行動要支援者への支援を迅速かつ的確に行うため、避難行動要支援者名簿を整備し、自主防災会をはじめ、民生・児童委員、市関係機関において情報を共有しております。

さらにその中でも自力避難が困難かつ家族支援がない方を対象として、具体的な支援方法を明確にしておくための個別計画の作成をお願いしているところです。

本日、関係資料を配布させていただきますので、避難行動要支援者名簿の適切な活用及び個別計画の作成につきまして、御協力をお願いいたします。

避難行動要支援者名簿について

①掲載対象者

高齢者や重度の障害を有しており災害発生時に自力避難が困難で、関係機関への
情報提供に同意していただいた方のみ

②運用方法

- ・各町内における避難行動要支援者を平常時から把握する。
- ・本人の同意のもと、防災訓練において安否確認・避難誘導訓練に活用する。

※本日の会議において、最新情報に更新した名簿を過去の名簿と交換します。

前任者など過去の名簿を保有している方がわからない場合は、危機管理課山下宛に御連絡ください。

避難行動要支援者名簿は市が有する住民情報と民生委員の聞き取り調査をもとにして福祉課が所管で作成しております。掲載対象の抽出条件は以下のとおりです。

- 1 重度要介護者（要介護3～5の認定者のうち居宅介護者）
- 2 身体障害者手帳1級又は2級の交付を受けている在宅の者
- 3 療育手帳Aの交付を受けている在宅の者
- 4 特定疾患治療研究事業費助成認定を受けた在宅の者のうち総合支援法に基づく障害福祉サービス利用者
- 5 精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けた在宅の者
- 6 要支援1・2又は要介護1・2の認定者のうち介護保険の居宅でのサービス利用者
- 7 上記1～6以外に登録を申し出た者

個別計画について

①作成対象者

避難行動要支援者であり、「他者の支援がなければ避難できない在宅の方」かつ「家族等による支援が受けられない方」

②運用方法

- ・ 自主防災会、民生委員、避難支援者、市関係機関において具体的な支援方法を情報共有する。
- ・ 実災害時において、個別計画をもとに迅速な避難支援にあたる

③作成方法

- ・ 自主防災会が主体となり、昨年度までに未作成の方、新たに対象となった方、昨年度までに作成した方で情報に変更があった方について、本日お配りする資料により個別計画の作成をお願いします。
- ・ 「支援者」は、原則対象者本人に決めていただきますが、本人が支援者を見つけられない場合は、近隣の方々等に支援者になっていただくよう協力を求めてください。
- ・ 個別計画の作成は努力義務となっていますので、作成に努めるようお願いします。

④作成期限

回収用封筒に封入して危機管理課へ令和5年12月4日(月)までに提出
※個人情報になるので、郵送ではなく直接危機管理課（島田市役所3階）まで
お持ちください。

個別計画作成作業の流れ

① 個別計画対象者リストに記載されている対象者宅を訪問します。

- ◎持ち物・・・個別計画（様式）
個別計画記載例
個別計画対象者リスト
回収用封筒

② 対象者に対し、個別計画について説明します。

- ◎説明のポイント
- ・支援者の明確化・・・自力での避難が困難な方について、災害時の避難支援者をはっきり決めておく。
 - ・情報の共有化・・・対象者の情報をより詳細に把握し、関係者で共有することにより、迅速な支援に役立てる。
- ※関係者：自治会長、町内会長、自主防災会長・副会長、
自主防災委員長、民生児童委員、避難支援者、
島田市危機管理課・福祉課

③ 「記載例」を参考に、必要事項の記入を依頼します。

その際、回収に伺う日を相談して決めておき、回収用封筒の表面と、個別計画対象者リストに書き入れます。

- ※登録用紙を自分で記入できない方の場合、お手数ですが代筆をお願いします。
※登録したくないと申し出る方については、無理に提出を求める必要はありません。

④ 対象者宅を訪問し、個別計画を回収します。

個別計画を受け取る際、記入漏れや不明な点がないか確認し、必要に応じて聞き取りをお願いします。情報提供に関する「承諾印」があるかも確認してください。
個別計画の提出有無について、個別計画対象者リストの備考欄に記載しておきます。

⑤ 個別計画を市役所へ提出します。

地区内の対象者宅訪問が全て終了したら、「個別計画対象者リスト」「個別計画」を市役所危機管理課（又は各支所窓口）に提出します。

個別計画の原本とコピーを必要部数お返しします。

※原本・・・自主防災会用

コピー・・・対象者本人、支援者、自治会用（関係者への配布をお願いします）

《注意事項》

① 個別計画対象者リストについて

令和5年9月時点において、「避難行動要支援者名簿」に掲載され、情報提供に関する同意をいただいている方のうち、「自力避難困難」かつ「家族支援がない」方を抽出しています。

② 支援者が見つからない場合

避難支援者を御本人が特定できない場合は、近所にお住まいの方に支援者になってもらえるよう協力を求めてください。

③ 個別計画の更新について

対象者の情報は、時間の経過とともに変化していきますので、定期的に訪問するなどして、適宜計画書を更新する必要があります。この時期に合わせ、年1回の全戸訪問を実施するのが望ましいと思います。

なお、情報を関係者で共有するため、更新後の個別計画は市役所危機管理課へも提出をお願いします。

様式第3号（日本工業規格A4縦型）
（表）

避難支援に関する「個別計画」

私は、災害時等において安否確認・避難支援を目的として、下記の情報を、自治会、自主防災会、民生委員・児童委員、避難支援者、島田市に提供することを承諾します

令和 年 月 日 氏 名 島 田 一 郎 ㊟

代筆者氏名 島 田 一 子（続柄）妻

※個別避難計画の対象者

→ 自力での避難が困難で
家族の支援が受けられない方

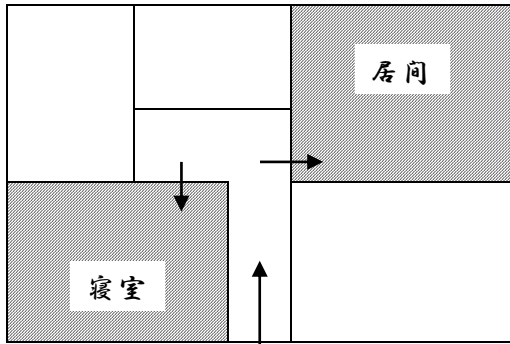
自主防災会 (横井町) 自主防災会

組 (1) 組

状 況	要介護度 (1 2 3 4 5)・ひとり暮らし高齢者 <u>高齢者世帯</u> 身体障害 (級) 知的障害 その他 ()		
住 所 (アパート名)	島田市横井二丁目〇〇〇番地 (コーポ島田201号)	固定電話 携帯電話	36-〇〇〇〇 - -
フリガナ 氏 名	シマダ イチロウ 島田 一郎 (男・女)	生年月日	明治・大正 昭和・平成 10年〇月〇日

緊急時の家族・親族の連絡先

氏名	島田 一子	続柄	妻	住所	同上	電話	同上
氏名	島田 一夫	続柄	長男	住所	藤枝市〇〇××番地	電話	〇〇-〇〇〇〇

家の見取り図
(普段いる部屋・出入口の位置)

玄関

居住建物	戸建・ <u>共同住宅</u> 2階建 1階
建築時期	<u>昭和</u> ・平成 30年頃
耐震診断	実施・未実施・ <u>不明</u>
構造	<u>木造</u> ・鉄骨・鉄筋コン
家具の固定	実施・ <u>未実施</u>
住宅火災 報知器	<u>設置済</u> ・未設置
市緊急通報 システム	有・ <u>無</u>

避難支援者 ※「続柄」は隣組、近隣者 等を記入

氏 名	続柄	住 所	電 話
鈴木 ○男	近所	島田市横井二丁目〇〇〇	36-〇〇〇〇
山田 △太	隣組	島田市横井二丁目△△△	37-××××
			-

(裏)

◎災害に関する情報が誰から伝わりますか？			
※南トラ関連情報発令時 (妻 鈴木さん(近所)) ※突発地震発生時 (妻) ※洪水等その他災害時 (妻)			
◎自分の意思を支援者にどのように伝えますか？			
① 口頭 2 筆記 3 手話 4 その他 ()			
常備薬は	あり ・ なし		
お薬手帳は	あり ・ なし		
かかりつけ医は	あり (○○内科医院) ・ なし		
日中利用する施設・サービス等は	高齢者	ケアマネジャー (○○居宅介護支援事業所の△△さん) ※電話 090-0000-1111 デイサービス・ショートステイ等の利用施設 (◎◎デイサービスセンター) ※電話 36-××××	
	障害者	障害者通所施設等 () ※電話	
既往歴	1 心疾患等 (高血圧・ペースメーカー) 2 脳疾患 3 アレルギー () 4 透析 5 酸素吸入 6 人工呼吸器 7 その他 ()		
自力歩行	可 ・ 不可		
必要避難器具等	1 歩行介助 2 車イス 3 担架 4 その他 ()		
避難時持出品の用意	あり ・ なし		
避難先での留意事項 ※あれば記入	食事のこと	食事制限あり。	
	就寝のこと		
	その他	自力で排泄できないため、個室が必要。	
自宅から一次避難所までの経路 (図示)		備考 (気になることを何でも記入)	
		・ 左肩を触ると痛むので、移動の際注意してください。 ・ 耳が聞こえづらいので、大きな声で呼びかけて欲しい。	
民生・児童委員	静岡 ○子	電話	36-0000
自主防災会役員	志太 △男	電話	37-××××